

46年

- 春季リーグ戦第5位
- 秋季リーグ戦第4位

この年の思い出・46

森本和博

「先輩、ファイト！ファイト！」のどがはりさけんばかりの声をはりあげ、また大きなバスタオルをもって、こわい顔をした先輩の流れる汗をふきにまわる毎日であった。

昭和43年5月入部、高校時代は器械体操にあけくれ、まぐれで関大に合格。入学当時はあつかましくも司法試験への夢もち、文化クラブである法律相談所に入部したものだ。万葉の桜にかこまれて、期待と不安の錯綜した気持の入学当時であった。

しかし、何か物足りない、何かやらなければと思いつつすごすうち、東京オリンピックでかつて見たレスリング選手のたくましい姿がまぶたの裏にくっきりと映し出されてきたのである。そうだ、レスリングをやってみよう、オレはレスリングをやる星のもとに生まれてきたのだ。自分なりの勝手な解釈をしたものだが……。

思いたったら、吉日だ、さっそく法律相談所へ退部届けを出し、その足でレスリング部の門をたたいたのである。ごつい感じの先輩がいる。ちょっとこわそう。しかし、決心して入部したからには、しっかり、やろう。そう心に決めてレスリング生活の第一歩を踏み出したのである。

考えてみるに、月日のすぎるのは早いものだ。卒業してから早や5年がすぎた。目をとじるといろいろな出来事がうつしだされてくるのである。

「オイ！練習にでてこないY君を呼んでこい。」先輩におこられるように言われ、同級生のY君をよく呼びに行ったものだ。体育館のうら手の彼のこぎたない寮。重い足をひきずりながら、「もし連れていけなかったらどうしよう。先輩にこっぴどく叱られるだろう」、なんてことを考えながら、ドアをあける。Y君はもう昼だというのに、高いびきの鼻ちょうちん。「オイ！起きろよ。練習に行こう。」彼は重量級の大きな男で、大陸的な男だった。「ねむたいし、今日は練習を休む。オマエかわりにやっておいてくれ。」なんてとぼけた返事をよくしたものだ。説得して、やっと腰をあげる。そんなことがしばしばであった。そのたびに神経がすり減る思いだったことを覚えている。Y君いまでは元気にやっているかな！

さて、場面はかわり、あれは、一年生の終りごろだったと思う。同じ神戸に住むH先輩との話。厳しく、つらい練習を終え、家路につく夕方のことであった。「オイ森本！いっぱいやっか。」とH先輩が云った。私は内心のみに行くといっても、金はない、先輩も同じくオケラだろうと……。まあ先輩の顔をたててついて行くことにした。

神戸の三宮、飲み屋街の近くまできた時、「森本、ちょっとまっとれ。」というや、高架下の一軒の質屋へ姿を消した。店から出てくると私の方を見てニヤリ……。「3千円あれば、二級酒がたんたんと飲めるぞ。」

日ごろは、練習で厳しくてこわい先輩だけど、時計まで質に入れて飲ませてくれるなんて、その時しみじみと思った次第である。

4年生の夏、山口県へ2週間の合宿練習に行き、その後、鹿児島県の枕崎へ遠征試合へ行く。博多から西鹿児島までの急行列車の車中。18才位のかわいい女性が2人、私の前の座席にすわったのであ

る。合宿の疲労もいっぺんにふきとび、旅のよもやま話。それもつかの間、列車は西鹿兒島へ到着。名ごりおしそうに（これは私の方だが）きょうならをしたのである。

話しがこれではおもしろくない。場面は指宿へと変わる。指宿のジャングル温泉のロビーで、減量の疲れで、ソファーに横たわっていたら、私のひざをポンとたたくものがある。なんと車中で知りあった二人の女性ではないか。このことがキッカケでいまだに九州から年賀状が届く、つらい苦しい時代にパッと咲いた楽しい心なごむ思い出の一場面である。

とりとめのない思い出話して書きつづったが、私がレスリング生活で得たものは大きかった。たいした成績をとることはできなかったが、青春をレスリングにかけたと云っても過言ではないだろう。今ひしひしと感ずることである。

激動と変化の現代、混とんとした社会構造、その中に身を置いて、しのぎを削り生活している昨今。レスリングで得たすばらしい友人、たゆまぬ精神を大切にして、将来に向かってはばたく鳳凰のごとく、飛躍していく覚悟である。

この年の部の構成

部 長 高 堂 俊 弥

監 督 堀 江 茂 雄

コ ー チ 神 谷 和 巳、光 富 久 弥、伴 義 孝

主 将 山 田 紳 一

副 将 森 本 和 博

主 務

学連委員 平 野 泰 啓（副委員長）

4 稲 本 重 幸、森 本 和 博、山 田 紳 一、米 北 徹
西 尾 康 弘

3 阿 部 裕、和 田 恵 夫、太 田 正 志、平 野 泰 啓

2 屋 麻 戸 康 雄

1

46 春 1 部 (46年 5月28、29、30日、桃山学院大学体育館)

近大 ⑦ 1引分け 1 中京大
 同大 ⑤ 1引分け 2 関大
 福岡大 ⑥ 1引分け 2 関学
 同大 ④ 3引分け 2 近大
 関大 ④ 1引分け 4 関学
 同大 ⑥ 1引分け 2 中京大
 近大 ④ 2引分け 3 関大
 同大 ④ 2引分け 3 福岡大
 中京大 ④ 2引分け 3 関学
 福岡大 ⑥ — 3 関大
 福岡大 ⑧ 1引分け 0 中京大
 近大 ⑥ 2引分け 1 関学
 中京大 ⑥ — 3 関大
 同大 ⑦ — 2 関学
 近大 ④ 1引分け 4 福岡大

順位

- 1 同大 5勝
- 2 近大 4勝 1敗
- 3 福岡大 3勝 2敗
- 4 中京大 2勝 3敗
- 5 関大 1勝 4敗
- 6 関学 5敗

主要戦個人勝敗表

関大 2 1引分け⑥ 同大
 52 — 不戦 ◎湯谷
 57 屋麻戸 — ◎福田
 57 阿部 — ○吉田
 62 森本 — ○高木
 62 平野 — ○石田
 68 山田 ○ — 角田
 68 和田 ○ — 押田
 74 太田 — ○八木
 74+ 米北 △ 分 △中沢

2 部

大学名	a	b	c	d	e	f	g	勝数	順位
名城大 a	—	⑤	○	⑦	⑥	⑧	⑧	6	1
桃山大 b	4	—	⑦	④	3	○	⑨	4	3
大体大 c		1	—	0	3	⑧	⑥	2	5
広商大 d	2	4	⑨	—		⑧	○	3	4
名商大 e	3	⑥	⑥	○	—	⑦	⑦	5	2
金工大 f	1		1	1	1	—	⑥	1	6
龍谷大 g	1	0	2		1	3	—	0	7

入替戦 関学 — 名城大 (不詳)

46 秋 1 部 (46年11月19、20、21日、桃山学院大学体育館)

同大 ⑦ — 2 名城大
 福岡大 ⑥ 1引分け 2 関大
 近大 ⑦ 1引分け 1 中京大
 同大 ⑦ — 2 関大
 福岡大 ⑧ — 1 中京大
 関大 ⑦ — 2 名城大
 同大 ⑤ — 2 福岡大
 近大 ⑤ — 3 関大
 中京大 ④ 1引分け 4 名城大
 福岡大 ⑤ 3引分け 1 近大
 近大 ⑦ — 2 名城大
 同大 ⑧ — 1 中京大
 福岡大 ⑧ 1引分け 0 名城大
 関大 ⑤ — 3 中京大
 同大 ④ — 2 近大

順位

- 1 同大 5勝
- 2 福岡大 4勝 1敗
- 3 近大 3勝 2敗
- 4 関大 2勝 3敗
- 5 中京大 1勝 4敗
- 6 名城大 5敗

主要戦個人勝敗表

関大 ⑤ 1引分け 3 中京大
 52 西尾 3 R 0分28秒 ◎ 积子
 57 稲本 2 R 2分22秒 ◎ 幡田
 57 阿部 ○ 4-3 田岡
 62 森本 ○ 5-0 両川
 62 平野 ○ 6-1 間吾
 68 山田 ◎ 1 R 1分56秒 家高
 68 和田 ◎ 不戦 —
 74 米北 1 R 2分7秒 ◎ 山本
 74+ 太田 △ 分 △ 小松

2 部

大学名	a	b	c	d	e	f	g	勝数	順位
関学 a	—	⑦	4	⑤	⑧	⑨	⑧	5	2
名商大 b	2	—	2	4	⑥	⑨	⑧	3	4
桃山大 c	④	⑦	—	⑤	⑧	⑨	⑧	6	1
広商大 d	3	⑤	4	—	⑦	⑨	⑧	4	3
大体大 e	1	3	1	2	—	⑨	⑤	2	5
金沢工大 f	0	0	0	0	0	—	0	0	7
龍谷大 g	1	1	1	0	3	⑨	—	1	6

1～2部入替戦

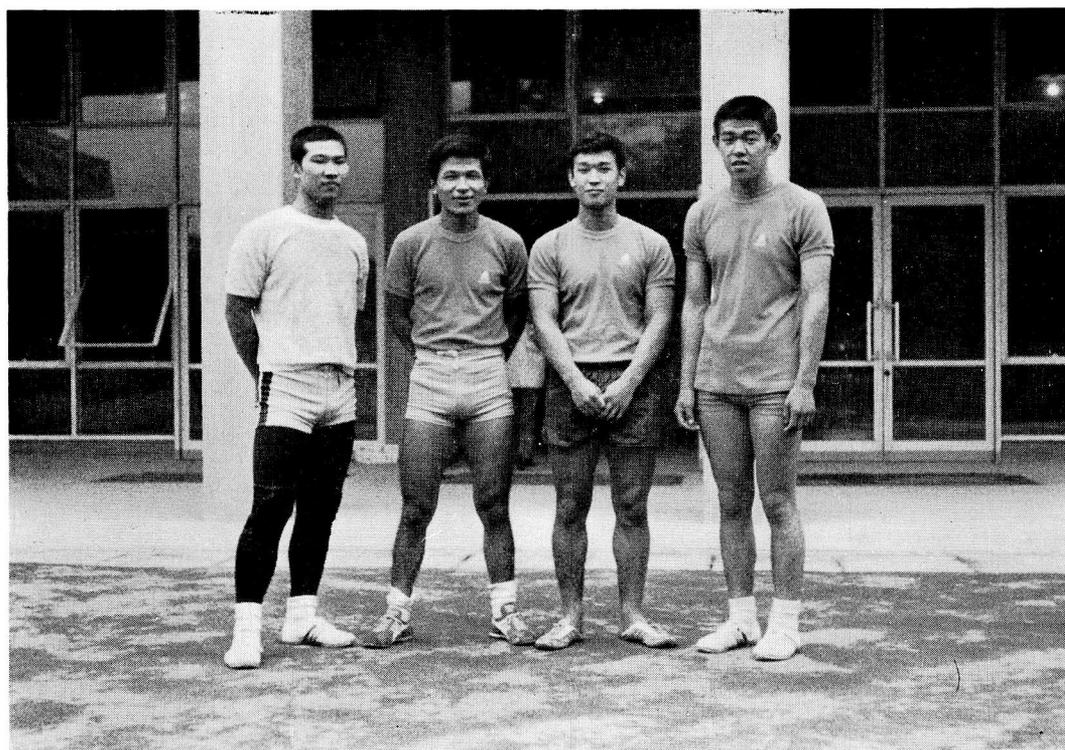
名城大 4 — ⑤ 桃山大
 桃山大 1部へ昇格

46 個人戦

西日本学生レスリング選手権大会
 フリー・68 山田 紳一 1位
 グレコ・57 森本 和博 3位
 //・68 和田 恵夫 2位
 //・74 山田 紳一 1位
 関西オープントーナメント
 フリー・68 和田 恵夫 2位

47年

- 春季リーグ戦第6位
- 1～2部入替戦に負け2部に落ちる
- 秋季リーグ戦2部第2位
- 松浪啓一、ソ連遠征コーチ
- 和田恵夫、ソ連遠征参加
- 堀江茂雄、米国遠征役員
- 市口政光、ミュンヘン・オリンピックチーム・
強化コーチ
- 伴 義孝、ミュンヘン・オリンピックチーム・
強化コーチ
- 押立吉男、大阪府体育協会功労賞受賞



部長 高堂 俊 弥
 監督 堀江 茂 雄
 コーチ 神谷 和 巳、光 富 久 弥、伴 義 孝
 主将 和田 恵 夫
 副将 太田 正 志、阿 部 裕
 主務 平野 泰 啓
 学連委員 平野 泰 啓 (副委員長)
 4 阿 部 裕、太田 正 志、平野 泰 啓、和田 恵 夫
 3 屋麻戸 康 雄
 2 住本 博文、檜山 政 宏
 1 飯田 秀 雄、片野 和 彦、岡田 光 司

この年の思い出・47

和田 恵 夫

私達が4回生になった2月の初練習は3回生が一人もいなく、また1回生も事情（留学等の）があつて参加出来ず、4回生である私達（和田、阿部、太田、平野）4名で練習を始めた。

私達の年代は入学前の昭和44年頃から大学紛争が活発化し、私達の1回生時をもって優秀運動選手の推薦入学制度が廃止になり、部員の数も急激に減り苦しい時代であった。

春のリーグ戦には、人数が足りないため柔道部員から2名援助してもらったが残念ながら2部に落ちてしまった。

2部落ちが決まった瞬間、覚悟はしていたものの涙があふれ出し、嗚咽が込み上げ、万感極り大声で泣いたものである。

私達はあまりにも惨めな年代であった。1回生の時は春秋リーグ戦優勝、2回生の時は春季5位・秋4位、そして4回生の時は春に2部落ちをするという下降一途の年代であった。

私が主将の時、関西大学レスリング部の輝かしい伝統に最初の汚点を印してしまい、諸先輩に申しわけない気持ち一杯です。当時は、我レスリング部のみならず関大スポーツの最低な時代が始まろうとしていた。一般学生にあつても、何事にも無気力ないわば「しらけ」の時代をむかえて、これが部員減少に拍車をかける原因の一つであった。しかし、このような条件下においてレスリングを続けてこられたことは誇りに思えるし、次の時代の部員に最低条件ではあるが部活動を継承してもらう下地をくずさなかつたことは今になって感慨深い。

こうなつた以上は、今後の現役諸君に頑張ってもらい、一季でも早く一部に昇格してもらいたい。幸いここ数年部員の数も増え、52年度の春季リーグ戦は一部昇格も望みえると聞き、一安心しております。

私事で恐縮ですが、4年間頑張つた甲斐があり、ソビエト遠征にも参加させて頂き、良い思い出になりました。これも諸先輩のご指導のおかげであると感謝しております。

努力すれば何かが残ります。現役の諸君またこれから我関大レスリング部に入部される諸君レスリング部での生活で豊かな学生々活を送って下さい。私の4回生の時は、それより過去に比べて最も悲哀を味わわざるを得ませんでした。心には豊かな思い出が一杯残り、最低の条件下において努力することがいかに大切であるかと、今に思えば、それが強い生命力を培かつてくれました。ご健闘をお祈りします。

47 春 1 部 (47年 5月26、27、28日、大阪府立体育館別館)

同大 ⑦ — 2 桃山大
 近大 ⑧ — 1 関大
 福岡大 ⑦ — 2 中京大
 同大 ⑥^{1引分け} 2 関大
 近大 ⑥ — 2 中京大
 桃山大 ⑦ — 2 関大
 福岡大 ⑧ — 1 関大
 同大 ⑤^{1引分け} 3 近大
 中京大 ⑥ — 3 桃山大
 福岡大 ⑥ — 3 近大
 同大 ⑥^{1引分け} 2 中京大
 福岡大 ⑦^{1引分け} 1 桃山大
 近大 ⑧ — 1 桃山大
 中京大 ⑦ — 2 関大
 同大 ④^{2引分け} 3 福岡大

主要戦個人勝敗表

関大 2 — ⑦ 桃山大
 52 西尾 3 R 2分55秒 ◎金川
 57 屋麻戸 3 × × — × × 6 ○中尾
 57 — 不戦 ◎高井
 62 平野 ◎ 3 R 2分31秒 川原
 62 片野 2-13 ○品川
 68 和田 ○ 1 R 2分31秒 魚野
 68 三浦 7 × — × 9 ○川鱒
 74 太田 2 R 0分43秒 ◎渡辺
 74+ 武田 1 R 1分25秒 ◎松田

順位

1 同大 5勝
 2 福岡大 4勝1敗
 3 近大 3勝2敗
 4 中京大 2勝3敗
 5 桃山大 1勝4敗
 6 関大 5敗

2 部

大学名	a	b	c	d	e	f	勝数	順位
名城大 a	—	⑤	⑥	⑥	④	⑦	5	1
関学 b	4	—	⑦	⑦	⑥	⑦	4	2
広商大 c	3	2	—	⑥	2	⑦	2	4
名商大 d	2	1	3	—	3	⑥	1	5
大体大 e	4	2	⑦	⑥	—	⑥	3	3
金沢工大 f	2	2	1	3		—	0	6

1～2部入替戦

関大 2 ^{1引分け}/_{1両失} ⑤ 名城大

名城大 1部へ昇格

1～2部入替戦 (個人勝敗表)

関大 2 ^{1引分け}/₁ ⑤ 名城大
 (1部) (2部)
 52 西尾 △ 6 × — × 6 △久野
 57 住本 8 × — × 12 ○園山
 57 屋麻戸 1 R 1分12秒 ◎山本
 62 片野 6 × × — × × 7 ○田中
 62 平野 2 × × — × × 13 ○畦地
 68 三浦 ◎ 1 R 1分03秒 川村
 68 和田 ◎ 1 R 1分30秒 鈴木
 74 太田 × × × — × × × 後野
 74+ 武田 3 × × — × × 9 ○安田
 名城大一部へ昇格

47 秋 2部 (47年11月26、27、28日、大阪府立体育館別館)

- 関大 ⑧ — 1 龍谷大
- 大体大 ⑦ — 2 広商大
- 関学 ⑧ — 1 名商大
- 関大 ⑥ — 3 広商大
- 大体大 ⑧ — 1 名商大
- 広商大 ⑥ — 3 龍谷大
- 大体大 ④^フ①^オ①^ー④^ル 4 関大
- 広商大 ④^フ①^オ①^ー④^ル 4 関学
- 名商大 ④^フ①^オ①^ー④^ル 4 龍谷大
- 大体大 ④²②^両③^失 3 関学
- 関学 ⑧ — 1 龍谷大
- 関大 ⑥ — 3 名商大
- 大体大 ⑧¹①^引④^分④^け 0 龍谷大
- 広商大 ⑤ — 4 名商大
- 関学 ⑤ — 4 関大

主要戦個人勝敗表

関大	4	1	両失	4	大体大
52	飯田	1 R	1分16秒	◎	前田
57	片野	1 R	1分43秒	◎	坂本
57	屋麻戸	2 R	2分20秒	◎	桜井
62	平野	3 R	0分18秒	◎	大越
62	阿部	○	6-5		吉永
68	三浦	◎	2 R	0分49秒	犬童
68	和田	◎	1 R	2分43秒	中本
74	太田	×××	両失	×××	谷沢
74	武田	◎	—		—

1部

大学名	a	b	c	d	e	f	勝数	順位
同大 a	—	④	④	⑥	4	⑦	4	2
福岡大 b	4	—	⑥	⑧	⑥	⑨	4	1
近大 c	3	2	—	⑥	⑤	⑦	3	3
中京大 d	3	0	3	—	⑤	⑦	2	5
桃山大 e	⑤	3	3	4	—	⑥	2	4
名城大 f	2	0	2	2	3	—	0	6

順位

- 1 大体大 5勝
- 2 関大 3勝2敗 28点
フォール数勝
- 3 関学 3勝2敗 28点
- 4 広商大 3勝2敗 20点
- 5 名商大 1勝4敗
- 6 龍谷大 6敗

1~2部入替戦

名城大 3 — ⑥ 大体大
大体大1部昇格

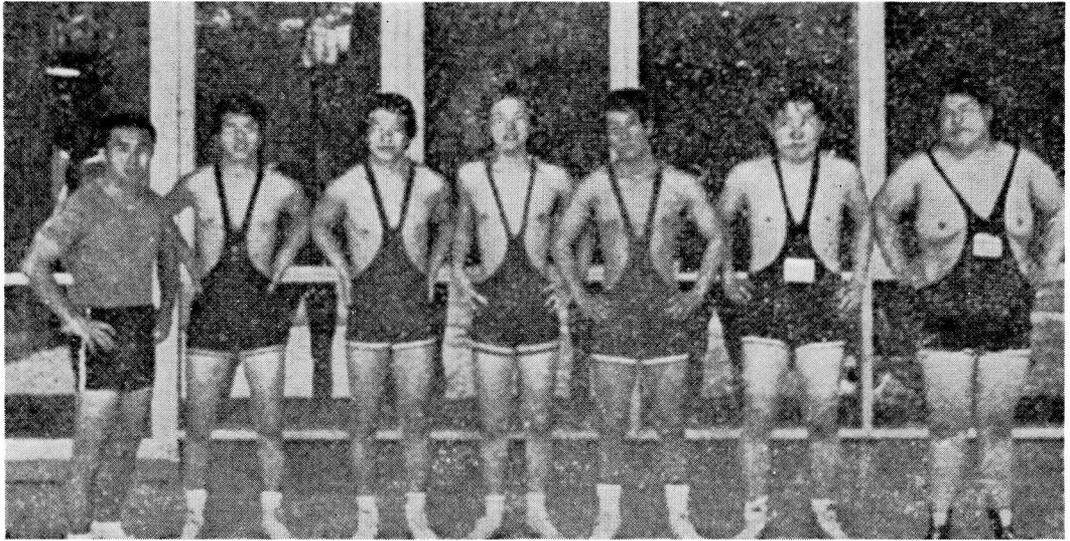
47 個人戦

西日本学生新人選手権大会	フリー・82+	岡田 光司	2位
西日本学生選手権大会	フリー・68	和田 恵夫	3位
	〃・82+	太田 正志	2位
	グレコ・82+	太田 正志	2位
全日本学生選手権大会	グレコ・82	太田 正志	3位
全日本選手権大会	グレコ・62	藤浦 義隆	1位

(日体OB、本学コーチ)

48年

- 伴 義孝、監督に就任する
- 春季リーグ戦 2部第4位
- 秋季リーグ戦 2部第4位
- 森川泰治、高校米国遠征日本代表チーム・監督



部 長 高 堂 俊 弥

監 督 伴 義 孝

コ ー チ 村 山 栄 治、藤 田 裕 充、藤 浦 義 隆（日体大OB）

主 将 住 本 博 文、片 野 和 彦

副 将

主 務 片 野 和 彦

学連委員

4 屋 麻 戸 康 雄

3 住 本 博 文

2 飯 田 秀 雄、岡 田 光 司、磯 辺 忠 久、片 野 和 彦

1 水 鳥 恵 護、宮 内 博 茂

この年の思い出・48

飯田秀雄

48年度、それは我関西大学レスリング部にとって最大の危機であった、と私は思います。

恐らく、数々の栄光を手にしてこられた諸先輩にとって、この年の状態は考えられない事であり、大変なショックであろうと拝察致します。その意味で、この年の状態を報告する事は私自身、諸先輩に対して誠に申し訳なく思うのですが、こういう状態を克服しつつ、現在の我部が再起の道にあるということを御理解いただき、この悲惨な報告を許していただきたく存じます。

まず、その年私は2回生に籍を置いておりました。これをとってみても諸先輩は何かおかしいと感じられることでしょう。

実はその通りで和田さんはじめ4名の幹部の方が部を卒業した後、4回生という重要なポストがポツカリとあいてしまい3回生以下総勢6名ほどの全くの少人数のチームと化してしまったのです。

そして、その弱化したチームの為なのでしょうが、練習にも身が入らず、2人おられた3回生の方も部を去られるという状態になり結局、2回生中心の全くおそまつな部となってしまった訳です。

こうなれば、部の目標はスポーツに当然おくべきものである勝利というものから、部の存続という一段低いランクのものになってしまっていたことを報告しなければなりません。

そして我々自身、「もう無理だ」、「もう過去の強い部にはもどれない」という、あきらめとも、なんとも言えない気持ちを感じていたことも否定できません。事実、正直に告白すると、そんな気持ちをプラスの方向つまり「なんとかしよう」、「きっと立ち直ろう」とする行動より、マイナスの行動「もうダメだ」という行動をとり、練習も満足にできなかった様です。そうした状態は、余計にチームを弱化させ、弱化したチームから、また気持ちが離れていくという、どうしようもない悪循環をくり返していた様な気がします。

従って、もし……我部に伝統というものがなければ……もっと切りつめて言いますと、そんな時に我々の練習を見て下さった諸先輩そして伴監督の存在というものがなければ、部は恐らく解体という不名誉な事態を招いていたであろう事は、決して私のオーバーな表現ではないでしょう。

そんな訳で、この年の部の活動としては、これと言って報告できるものはありません。

夏の合宿にしても、高校へ、我々の方から出向くという状態でしたし、リーグ戦にしても、借物を必死に促成して、その場をしのいだという思い出が残っております。

しかし、そんなどん底の状態の中であって少しづつながら再起の道へ進みだしたのではないかと思われだしたのがこの年の後半、新しい戦力が入り出した時でした。そして49年を迎える事になります。

48 春

[2部]

48 秋

と き 48年5月25、26、27日

ところ 大阪府立体育館別館

と き 48年11月23、24、25日

ところ 大阪府立体育館別館

名城大	⑥	—	0	龍谷大
広修大	⑤	—	4	関学
関大	⑤	—	4	名商大
広修大	④	—	3	名城大
関学	⑦	—	1	名商大
広修大	⑥	—	2	龍谷大
名城大	⑥	—	3	関学
広修大	④	<small>フォーナル 勝1引分</small>	4	関大
名商大	⑥	—	2	龍谷大
関学	⑥	—	3	関大
関大	⑦	—	2	龍谷大
名城大	⑥	—	3	名商大
関学	⑦	—	2	龍谷大
広修大	⑦	—	2	名商大
名城大	⑥	—	2	関大

順位

1	広修大	5勝
2	関学	4勝1敗
3	名城大	3勝2敗
4	関大	2勝3敗
5	名商大	1勝4敗
6	龍谷大	5敗

広修大	⑥	—	3	龍谷大
名城大	⑦	—	2	関大
関学	⑦	—	2	名商大
広修大	⑦	—	2	関大
名城大	⑦	—	2	名商大
関大	⑤	—	4	龍谷大
広修大	⑤	—	4	名城大
関学	⑨	—	0	関大
龍谷大	⑥	—	3	名商大
関学	⑧	—	1	名城大
関学	⑦	—	2	龍谷大
広修大	⑦	—	2	名商大
名城大	⑦	—	2	龍谷大
関大	⑥	—	3	名商大
関学	⑤	2引分け	2	広修大

順位

1	関学	5勝
2	広修大	4勝1敗
3	名城大	3勝2敗
4	関大	2勝3敗
5	龍谷大	1勝4敗
6	名商大	5敗

48 春

[1部]

48 秋

大学名	a	b	c	d	e	f	勝数	順位
福岡大 a	—	⑤	⑤	⑨	⑧	⑤	5	1
同 大 b	4	—	3	⑥	3	⑤	2	4
近 大 c	1	④	—	⑧	⑤	④	4	2
桃山大 d	0	3	1	—	4	0	0	6
中京大 e	1	⑥	3	⑤	—	4	2	5
大体大 f	4	4	4	⑨	4	—	2	3

1～2部入替戦

桃山大 ⑤ — 4 広修大

桃山大1部残留

大学名	a	b	c	d	e	f	勝数	順位
福岡大 a	—	⑦	3	⑤	⑤	⑧	4	2
近 大 b	1	—	1	2	⑥	⑥	2	4
大体大 c	⑤	⑥	—	⑦	⑦	⑧	5	1
同 大 d	4	⑥	2	—	⑤	⑥	3	3
中京大 e	2	2	1	4	—	⑦	1	5
桃山大 f	1	3	1	3	2	—	0	6

1～2部入替戦

桃山大 ⑤ — 4 関学

桃山大1部残留

48 個人戦

西日本学生選手権大会 フリー・82⁺ 岡田 光司 3位

 グレコ・82⁺ 岡田 光司 3位

49年

- 春季リーグ戦 2部第2位
- 秋季リーグ戦 2部第3位
- 西脇義隆、米国遠征監督
- 森川泰治、米国遠征役員



部長 高堂 俊 弥
 監督 伴 義 孝
 コーチ 村山 栄 治、藤田 裕 充、藤浦 義 隆
 主 将 片野 和 彦、飯田 秀 雄
 副 将 飯田 秀 雄、宮内 博 茂
 主 務 岡田 光 司

学連委員

4

3 片野 和 彦、飯田 秀 雄、岡田 光 司

2 宮内 博 茂、岩本 勝 彦、奥井 潤

1 大西 茂 人、南口 宏 之、大西 司 人、岡原 守

この年の思い出・49

飯田 秀雄

この年も、48年に引き続き部の状態は苦しい年でした。しかしながら、その状態は、わずかながら、良い方向に進み出し、希望の灯が見えはじめていた様な気がします。

我々が3回生になった時、期待されるのは新人の導入でした。監督の努力もあって、4人の新戦力が加わり、我々の気持も大きく前進しました。これで、部は再び10人以上で、構成する様になり、練習、合宿の計画も、かなり具体的に検討できる様になったのは、我々にとって大きな喜びでした。

新戦力の4人は決して、高校時代の経験者というふうな者ではなく、皆、レスリングをはじめて知る者ばかりでしたが、それでも、我々には、彼らを、何とか戦力としてリーグ戦に出場させる事によって、名門関大を復活させようという、勝利に向かって走る意欲が芽生えてきた事は、大変なプラスだった様に思われます。

まだまだチームとしては、貧弱なものでしたが、止まりかけていた汽車が、大きな汽笛と共に再び、すべり出したのではなかったかと思えます。

こういう状態から、50年度へと移行する訳ですが、二部ながら「勝利」の味を知る事ができた我々は、大変な幸せ者であったと思えます。関大レスリング部からすれば、まだまだ、喜べない勝利だったのですが、48年度で、報告しました様に、部の存続さえ危なかった我々にとっては、本当に感激の出来事でした。詳しくは、50年度担当者の報告に、バトンを渡す事にして、私は、50年度の喜びの下には、48年、49年の活動が、土台となったのかなと思うと、何とも言えない喜びを感じると同時に、本当に良い勉強をさせて頂いたと、感謝の気持ちでいっぱいになる事を、御報告申し上げます。

とにかく、両年とも栄光ある我部の重大な危機であったという事が、出来ると思えます。また、そんな時に、我々を支えて下さった、今は亡き村山コーチはじめ、藤田コーチ、長井さん他諸先輩の方々に、最後になりましたが、深く感謝致します。

そして、個人的になりますが、伴監督の存在というものは、私にとって大きな心の支柱となっております。現在、部があるのは、監督の力がなければ、おそらく考えられないと思えます。歴代の中で、最低の部員である我々を、良く引っぱって指導して頂いたと心より御礼申し上げます、私の報告を、打ち切りと致します。どうも、ありがとうございました。

49 春 2部 (49年5月24、25、26日、大阪府立体育館別館)

関学 ⑥ — 3 関大
 広修大 ⑤ — 4 名商大
 関大 ④^フ_{勝1} ^オ_{引分} 4 広修大
 関学 ⑥₁ 両失2 名商大
 関大 ⑥ — 3 名商大
 関学 ⑥₁ 両失2 広修大

主要戦個人勝敗表

関大 3 — ⑥ 関学

52	一丸	1 R 1分17秒	◎山内
57	飯田	3 R 2分26秒	◎佐伯
57	礮辺	2 R 1分38秒	◎間沢
62	片野 ○	6-5	西川
62	奥井	2-13	○福田
68	南口	2 R 2分40秒	◎大江
68	岩本 ○	4-1	福井
74	宮内	2 R 2分02秒	◎川口
74+	武田 ◎	キケン	大西

順位

- 1 関学 4勝
 - 2 関大 3勝1敗
 - 3 広修大 2勝2敗
 - 4 名商大 1勝3敗
 - 5 名城大 全失合失格
- ※ 関学1部へ自動的昇格

1部順位(49春)

大学名	a	b	c	d	e	f	勝数	順位
大体大 a	—	3	⑨	⑨	⑦	⑧	4	2
福岡大 b	⑥	—	⑨	⑦	⑧	⑦	5	1
近大 c	0	0	—	0	0	0	0	6
同大 d	0	2	⑨	—	⑥	⑤	3	3
中京大 e	2	1	⑨	3	—	4	1	5
桃山大 f	1	2	⑨	4	⑤	—	2	4

※ 近大 2部自動的降格

49 個人戦

西日本学生新人選手権大会

フリー・74	宮内 博茂	2位
グレコ・74	宮内 博茂	2位

49 秋 2部 (49年11月22、23、24日、大阪府立体育館別館)

近大	⑨	—	0	龍谷大
広修大	⑤	—	2	名商大
名城大	⑤	—	4	関大
近大	⑨	—	0	名商大
名城大	⑥	—	3	広修大
名商大	⑤	—	3	龍谷大
近大	⑧	—	1	広修大
関大	⑧	—	1	名商大
名城大	⑦	—	2	龍谷大
関大	⑤	—	4	広修大
関大	⑧	1引分け	0	名城大
広修大	⑥	1引分け	2	龍谷大
名城大	⑧	—	1	名商大
近大	⑨	—	0	関大

順位

1	近大	5勝
2	名城大	4勝1敗
3	関大	3勝2敗
4	広修大	2勝3敗
5	名商大	1勝4敗
6	龍谷大	5敗

1 部

大学名	a	b	c	d	e	f	勝数	順位
福岡大 a	—	⑤	⑦	⑧	⑧	⑦	5	1
大体大 b	3	—	⑧	⑧	⑤	⑦	4	2
同大 c	2	1	—	3	3	⑤	1	5
桃山大 d	1	1	⑥	—	④	⑤	3	3
中京大 e	1	2	④	4	—	⑦	2	4
関学 f	1	2	3	4	2	—	0	6

1～2部入替戦

関学 1 — ⑧ 近大

近大は1部へ昇格

50年

- 春季リーグ戦 2部優勝
- 秋季リーグ戦 2部優勝
- 1～2部入替戦に勝って1部へ復帰する（秋）
- 伴 義孝、ジュニア－世界選手権大会審判員
- 伴 義孝、国際特級審判員になる
- 高田勝三、米国遠征役員
- 福家義夫、米国遠征役員
- 松井 清、(財)日本アマチュアレスリング協会
副会長に就任する



部長 高堂 俊 弥
 監督 伴 義 孝
 コーチ 村山 栄 治、藤田 裕 充、藤浦 義 隆
 主将 飯田 秀 雄
 副将 宮内 博 茂
 主務 岡田 光 司 副務 則 兼 京 子
 学連委員 岡田 光 司 (書記)
 4 飯田 秀 雄、岡田 光 司
 3 岩本 勝 彦、奥井 潤、宮内 博 茂
 2 大西 司 人、岡原 守、大西 浅 登、南口 宏 之
 1 片岡 郁 夫、佐藤 良 輔、西川 雅 之、宮田 有 恒
 則 兼 京 子

この年の思い出・50

岡田 光 司

ここ4～5年の体育会全体の後退現象の最中に、レスリングというスポーツを選び、最上級生になったわけであるが、今ふりかえるとつらい面も数々とあった。第一にレスリングというスポーツが、まだまだ学生間に理解されず、「野蛮」「危険」といった言葉が根深く浸透し部員不足ということにつきあつた。マットの上に2～3人という練習の日も続いたし、2年生の秋にして主将、主務といったポストにつかなければならなくなった。

しかし49年、50年とここ数年にすれば、我部にとっては大量の新人部員をみ、そしてかれらは皆、ガッツあるホープばかりである。そして50年度は48kg級から82kg以上級までフルエントリーできるようになり、春季新人戦においては、48kg級に新人王が誕生し、入ったばかりの新人生3人が、74kg級3位、82kg級2位、82kg以上級2位に入賞するところまでになった。この結果、新入生の練習に対する情熱、それにとまなう技の上達というものが、2年生を刺激し、2年生が3年生をとというふうになり、秋のリーグ戦を前にし、部のムードは最高のものとなり、自分達が一番大切にしてきた「チームワーク」も良くなり、部の目標は、二部優勝一部昇格というものになった。二部優勝は春季リーグ戦で手中にしたが、残念ながら入替戦で6-3で中京大に敗北し、二部に甘んじた。このことが、「一部昇格ということを果たすのだ」と、部員全員に徹底し、さらに技群のチームワークとなったのだった。

いよいよ自分達にとっては学生としては最後の試合である秋季リーグ戦がやってきた。大市大、龍谷大、名城大、広修大、名商大、と連勝し、最終日いよいよ宿敵関学大との対戦となり、互角の試合となり、4-4で最終で決着がつくことになり、我部が3R逆点フォール勝ちで、2年生がなんと相手主将を破って春に続き二部優勝を果たした。

またしても入替戦の相手は中京大となった。春の敗北が部員一同を燃え上らせ、試合は白熱し、スコアは5-4で勝利し、自分が1年の春季リーグ戦で名城大に5-4で負け二部転落し、それ以来の悲願であった一部昇格が実現したのだった。

部員減少ということで苦しめられ、何度も「クラブをやめてしまおう」と、思った自分であったが、入替戦終了の礼を終えた時、下級生が、体重のある自分を胴上げしてくれた時には思わず涙が出て止まらなかった。

そして一部昇格祝いの席上で、優勝カップで飲んだビールの味は今でも忘れられないし、その時「自分は4年間一つのことをやりぬいたのだ」という思いで感無量であったし「何事も勝たなければならぬ」と思ったのだった。

後輩諸君、「勝つ」ための努力、それが大切なのである。そのための努力は青春の躍動そのものである。自分を大切にしてほしい。ご健闘をお祈りします。

50 春 2部 (50年5月23、24、25日、大阪府立体育館別館)

関学 ⑥_{1引分け} 2 名商大
 名城大 ⑥ — 3 広修大
 関大 ⑥ — 3 名商大
 関学 ⑥_{1両失} 2 広修大
 関大 ⑤ — 4 名城大
 名商大 ⑤ — 4 名城大
 関大 ⑦ — 2 広修大
 関学 ⑤ — 4 名城大
 関大 ④<sub>フオール
勝1引分</sub> 4 関学
 名商大 ⑦ — 2 広修大

順位

- 1 関大 4勝
 2 関学 3勝1敗
 3 名商大 2勝2敗
 4 名城大 1勝3敗
 5 広修大 4敗

主要戦個人勝敗表

関大 ④<sub>フオール
勝1引分</sub> 4 関学

52 大西(司) 3-11 ○佐伯
 57 奥井 ◎ 1R 2分12秒 黒野
 57 岡原 2R 0分59秒 ◎間沢
 62 岩本 △ 5××分××5 △黒田
 62 大西(浅) 2R 1分18秒 ◎福田
 68 南口 ◎ 3R 2分31秒 西川
 68 宮内 2×-11 ○大江
 74 片岡 ◎ 1R 2分39秒 宮本
 74+ 原田 ⊖ 13-×0 高橋

1 部

大学名	a	b	c	d	e	f	勝数	順位
福岡大 a	—	2	⑦	⑦	⑤	⑤	4	2
大体大 b	⑥	—	⑦	⑧	⑥	⑧	5	1
桃山大 c	2	1	—	⑦	1	3	1	5
中京大 d	2	1	1	—	2	0	0	6
同大 e	4	3	⑧	⑦	—	3	2	4
近大 f	4	1	⑥	⑨	⑥	—	3	3

1~2部入替戦

関大 3 — ⑥ 中京大

52 大西(司) 1R 1分50秒 ◎新谷
 57 岡原 1R 1分25秒 ◎野原
 57 奥井 ○ 3××-2 家高
 62 大西(浅) 2R 2分15秒 ◎香山
 62 岩本 ×××失格 ◎末永
 68 南口 5-6 ○日高
 68 宮内 1R 2分33秒 ◎桜庭
 74 片岡 ◎ 不戦 —
 74+ 原田 ◎ 2R 0分59秒 秋定

※中京大は1部残留

50 秋 2部 (50年11月22、23、24日、大阪府立体育館別館)

関大	⑨	—	0	中京大
関学	⑨	—	0	龍谷大
広修大	⑤	—	4	名商大
関大	⑤	—	4	名城大
関学	⑥	—	3	広修大
名城大	⑧	—	1	龍谷大
名商大	⑦	—	2	大市大
関大	⑨	キケン	0	龍谷大
名商大	⑨	キケン	0	龍谷大
広修大	⑨	キケン	0	龍谷大
大市大	⑨	キケン	0	龍谷大
名城大	⑥	—	3	大市大
関大	⑦	—	2	名商大
名城大	⑥	—	3	関学
関大	⑤	—	4	広修大
関学	⑨	—	0	大市大
関学	⑥	—	3	名商大
広修大	⑦	—	1	大市大
名城大	⑥	—	3	名商大
名城大	⑤	—	4	広修大
関大	⑤	—	4	関学

主要戦個人勝敗表

関大		⑤	—	4	名城大
52	大西(司)	⊖	17—××3	牧	野
57	奥井	◎	1R 1分05秒	村	上
57	飯田		6××—××10	○上	野
62	岩本		1R 2分04秒	◎山	本
62	大西(浅)		3R 1分33秒	◎勝	浦
68	南口	◎	1R 1分17秒	釜	永
68	片岡	◎	1R 1分10秒	棚	橋
74	宮内	◎	不戦		
74	原田		3R 2分43秒	◎畑	野

順位

1	関大	6勝
2	名城大	5勝1敗
3	関学	4勝2敗
4	広修大	3勝3敗
5	名商大	2勝4敗
6	大市大	1勝5敗
7	龍谷大	6敗

1 部

大学名	a	b	c	d	e	f	勝数	順位
大 体 大 a	—	⑦	⑦	⑥	⑥	⑧	5	1
福 岡 大 b	2	—	⑤	⑦	3	⑦	3	3
近 大 c	2	4	—	⑤	⑥	⑧	3	2
同 大 d	3	2	4	—	⑤	⑦	2	5
桃 山 大 e	3	⑥	3	4	—	⑧	2	4
中 京 大 f	1	2	1	2	1	—	0	6

1 ～ 2 部 入 替 戦

	関 大 ⑤	—	4	中京大
52	岡 原 ○	9—××8		栗 井
57	奥 井	2 R 2 分40秒	◎	野 原
57	飯 田	1 R 2 分09秒	◎	家 高
62	岩 本	1 R 2 分32秒	◎	香 山
62	大 西	2 R 0 分35秒	◎	桜 庭
68	南 口 ◎	失格×××		日 高
68	片 岡 ◎	1 R 1 分16秒		竹 内
74	宮 内 ◎	失格×××		管 村
74 ⁺	原 田 ◎	3 R 1 分25秒		秋 定

※関大1部へ昇格

50 個 人 戦

西日本学生新人選手権大会 (春季)	フリー・48	大西 司人	1 位
	// ・74	片岡 郁夫	3 位
	// ・82	西川 雅弘	2 位
	// ・82 ⁺	宮田 有恒	2 位
西日本学生新人選手権大会 (秋季)	フリー・68	南口 宏之	3 位
	// ・82	宮田 有恒	2 位
	グレコ・48	大西 司人	2 位
	// ・52	岡原 守	3 位
	// ・82	宮田 有恒	2 位
西日本学生選手権大会	グレコ・68	岩本 勝彦	3 位